

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月31日
2次評価日（課長等）	2年3月31日

1 事業名	国民保護対策事業	コード	10111
-------	----------	-----	-------

2 担当部課	部等 総務部	課等 危機管理室	作成者 長門 哲
--------	--------	----------	----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	安全・安心で、自然環境と共生するまち		
		政 策	安全対策の推進	施 策	危機・防災・減災対策の推進と消防力の強化
		予算科目	国民保護対策事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	国民保護法		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）
事業の概要 （簡潔に）	国民保護法及び国民保護計画に基づく対策を推進する。	
目的	対象者	全市民
	意 図	住民の生命、身体及び財産を保護する。

5 事業の実施内容		*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容
1 国民保護協議会の開催：5月27日		国、県の動向を注視しながら、諏訪広域連合や岡谷市独自の状況を勘案し、国民保護計画の修正を行った。
2 岡谷市国民保護計画の修正：国民保護協議会において審議を行い承認を得た。		
前年度の課題への対応		

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	国民保護協議会の開催回数			単位	回
	実績値	1	1	1	
	*指標の説明	協議会の開催数			
② 成果指標（指標名）	国民保護協議会の開催回数			単位	回
	目標値	1	1	1	1
	実績値	1	1	1	
	達成度	100.0%	100.0%	100.0%	
	*指標の説明	協議会の開催数			
*目標値の設定方法の説明	協議会の開催数				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	10,295	10,928	10,998	48,000
経常経費	10,295	10,928	10,998	48,000
臨時的経費	0	0		
* 臨時的経費の説明				

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
② 人件費	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
正規職員の人数(人)	0.15	0.15	0.15	0.15
③ 合計コスト(①+②)	1,210,295	1,210,928	1,210,998	1,248,000
前年度比		100.1%	100.0%	103.1%
財源	1,210,295	1,210,928	1,210,998	1,248,000
一般財源				
内訳				
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	1,210,295	1,210,928	1,210,998	
前年度比		100.1%	100.0%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 100.0%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 100.0%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	<p>(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民保護に係る弾道ミサイルやテロ等の事象に対する住民理解と訓練の実施。 ・「岡谷市国民保護計画」の適時適切な修正対応。 	
改善方法	<p>(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国や県の動向を注視し、情報収集に努める。 ・訓練については、県との連携を図る必要があるため、適宜情報交換に努める。 ・国民保護協議会に合わせた計画修正のための情報収集に努める。 	
	改善開始時期	令和2年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	--	---